

半田病院のあり方を再考する会作成 赤レンガ東土地における新病院建設に関する報告書（案）

本報告書の位置づけ

赤レンガ東土地における病院建設の検討結果について整理した。別に病院事務局が作成した報告書が存在するが、病院事務局は終始、赤レンガ東土地の問題点ばかり捉えた説明を行っていることから、公正中立な立場で作成されたものではない。公平を期すため、「半田病院のあり方を再考する会」も別に会議でおこなわれた議論に基づき当報告書を作成し、会議にて承認を得た。

病院建設候補地として適切と考えられる事項

1. 通いやすく便利な病院となり、病院経営に有利となる。
（住吉駅からの距離が近い。人口中心に近く徒歩や自転車で来院可能となる患者・職員や、自家用車においても短時間で来院可能な患者・職員が増える。医療圏が拡大する。）
2. 災害時に適切に機能を果たすことができる可能性が高い。
3. 赤レンガ建物を市民のために有効活用することができ、安らぎのある病院となる。
4. 液状化対策費が低減できる。旧病院解体費用が不要となる。
5. 敷地内の高低差が少なく、利用者と車の移動がスムーズ。駐車場を隣接して建設可能。
6. 国道に信号を設置するなど道路整備により敷地北側生活道路への車侵入を低減できる。
7. 職員駐車場を市役所職員駐車場、半田山車祭り会場として継続利用できる。

病院建設において課題と考えられる事項

1. 赤レンガファクトリーパークが建設不能となる。市の観光政策に反する。
2. 市民団体：赤煉瓦倶楽部半田が反対している。
3. 赤レンガ建物や周囲環境と調和する外観デザインを採用するために余分な建設費がかかる可能性がある。
4. スペースが不十分。（職員駐車場案に比べれば敷地は広く、拡張性もある）
5. 周囲交通に負荷を与え、渋滞を発生、助長させる可能性がある。
6. 緊急車両のサイレンや工事中の騒音・振動、日照、交通量の増加など周辺住民の住環境へ悪影響を与える可能性がある。
（日照に影響する可能性がある住居は病院の北東に位置する数軒。その他の事項は職員駐車場に建設する場合や赤レンガファクトリーパークを建設する場合も同様）
7. ハウジングセンターとの契約解除により違約金が発生し、賃借料もなくなる。